

株主の皆様へ

# 第53期 報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日



美女平天空ロード(空撮)

# ごあいさつ



代表取締役社長 佐伯 博

皆さまには、日頃より、当社事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第53期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

平成28年度のわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により、緩やかな回復基調が継続し、個人消費にも持ち直しの動きが見られました。その一方で、英国のEU離脱決定や米国のトランプ新政権による保護主義政策推進の動き等を背景に、依然として先行き不透明な状態が続きました。

観光業界におきましては、航空路線の拡充やクルーズ船寄港数の増加、消費税免税制度の拡充等の要因により、平成28年の訪日旅客数が史上初めて2千万人の大台を超え、2,403万人に達する等、訪日旅行の躍進が続きました。一方、国内旅行においては、昨年3月の北海道新幹線開業や、4月に発生した熊本地震の影響、その後の「九州ふっこう割」等による地域的な変動があったものの、総じて低調な動きとなりました。

このような中、当期の立山黒部アルペンルートは、前年同様、4月10日に富山側の立山～弥陀ヶ原間の営業を再開し、4月16日には立山～信濃大町間が全線で営業再開となり、11月30日まで営業いたしました。

営業の推移を概観いたしますと、引き続き「立山・雪の大谷ウォーク」の人氣に支えられ、4月の入り込み客数が過去最高の112千人を記録する等、順調な滑り出しとなりましたが、5～6月は、少雪による4月への前倒し傾向と、前年度の善光寺ご開帳に連動した旅客増加の反動等により伸び悩みました。7月以降は、首都圏を中心とした積極的な広告宣伝活動と、新たに制定された8月11日の「山の日」に関連したイベントの開催等により盛り上がりを見せたものの、秋期には度重なる台風や長雨が影響し、初冬期も積雪に恵まれなかったため、営業終了まで低調に推移いたしました。

この結果、当期の入り込み人員は、合計922千人（対前年92%、75千人減）となり、また、入り込み方面別では、富山入り込みが476千人（対前年92%）、大町入り込みが446千人（対前年93%）となりました。

旅客の内訳では、国内旅客の入り込み人員が、北陸新幹線開業2年目に入りメディア露出が大幅に減少したことに加え、前年度秋期にあったシルバーウィークの反動等により、紅葉時期も低調となった結果、680千人（対前年87%、102千人減）となりました。

一方、訪日旅客は、団体客が6月以降、主要国台湾の景気低迷や円高による割高感が重しとなり鈍い動きとなりましたが、個人客は、JRの訪日客向け企画切符「立山黒部オプショナル券」等の発売による後押しもあり、引き続き大幅な伸びとなりました。訪日旅客全体では、過去最高の242千人（対前年113%、27千人増）で、全入り込み人員の3割近くを占めるまでに至りました。



北陸新幹線開業から2年目のシーズンを8%の減少で終えましたが、これからは、今後お客様を継続的に迎え入れていくための大きな正念場になると捉えております。折しも、昨年11月、富山県では有識者による「『立山黒部』の保全と利用を考える検討会」が発足し、立山黒部の世界ブランド化に向けた取り組みが始まり、また当社においても、アルペンルートの今後の方向性を探る「魅力向上プロジェクト検討委員会」を立ち上げ、立山黒部の未来像を描いてまいりました。立山黒部のもつポテンシャルに大きな期待が寄せられており、これらの要請に応え、「立山黒部」ブランドを確立するために、積極的な誘客促進および受け入れ態勢の整備に努め、強固な経営基盤の構築に繋げてまいりたいと存じます。

平成29年度の営業概況は、個人客が順調に伸び、5月末日までの入り込み人員では、前年比107%と好調であった前年度同期を上回る状況で推移しております。この勢いを持続させるため、引き続き精力的に営業活動を推進してまいります。

これからも、企業理念を継承し、事業継続の前提である安全、安心の確保、自然環境の保全にも積極的に取り組みながら、今後の経営環境の変化に柔軟に対応できる安定的な経営に努めてまいりたいと存じますので株主の皆さまにおかれましては、今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

# 決算概要 (記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

## 【単体】

### 損益概要

(単位:百万円)

	平成28年度	前期差	平成27年度
	営業収益	4,380	△209
営業費	4,267	38	4,228
営業利益	113	△247	360
経常利益	136	△213	350
当期純利益	95	△446	541

### 資産・負債概要

(単位:百万円)

	平成28年度	前期差	平成27年度
	資産の部	11,385	260
流動資産	1,381	△82	1,463
固定資産	10,003	342	9,661
負債の部	4,271	269	4,002
流動負債	1,084	△223	1,308
固定負債	3,187	493	2,694
純資産の部	7,113	△9	7,122

当期の営業収益は、43億80百万円（対前年95%）となりました。一方、営業費は、経営全般にわたる効率化に努めましたが、人件費、減価償却費が増加し、42億67百万円（対前年101%）となり、営業利益は、1億13百万円となりました。これに、営業外収益55百万円、営業外費用31百万円を加減した経常利益は1億36百万円となり、さらに受入補助金の特別利益4百万円および特別損失、法人税等ならびに税効果会計による法人税等調整額を加減した結果、95百万円の当期純利益を計上することとなりました。

詳細の情報はホームページにてご確認ください。

立山黒部貫光株式会社ホームページ <https://tkk.alpen-route.co.jp>

【連結】 連結子会社：立山貫光ターミナル(株)、立山黒部サービス(株)

損益概要

(単位:百万円)

	平成28年度		平成27年度
		前期差	
営業収益	6,918	△390	7,307
営業費	6,757	△33	6,790
営業利益	160	△356	516
経常利益	186	△320	507
親会社株主に帰属する当期純利益	127	△501	628

資産・負債概要

(単位:百万円)

	平成28年度		平成27年度
		前期差	
資産の部	12,744	176	12,568
流動資産	2,239	△225	2,465
固定資産	10,504	401	10,103
負債の部	5,242	136	5,106
流動負債	1,263	△427	1,690
固定負債	3,978	563	3,415
純資産の部	7,502	40	7,462

連結子会社の損益概要

(単位:百万円)

	立山貫光ターミナル(株)	立山黒部サービス(株)
営業収益	2,749	277
営業費	2,734	266
営業利益	17	11
経常利益	26	12
当期純利益	18	8



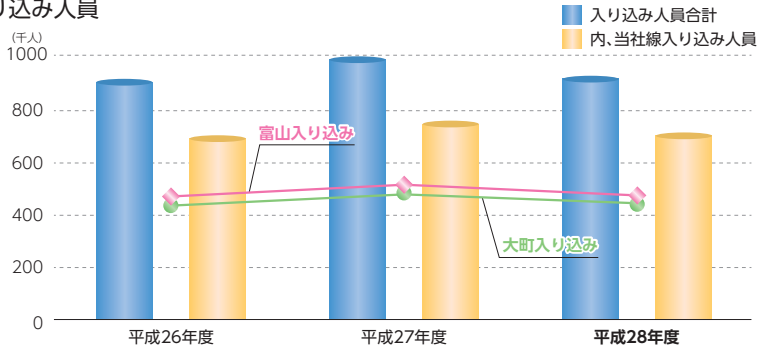
※立山貫光ターミナル(株)は、ホテル立山、弥陀ヶ原ホテル、宇奈月国際ホテルを運営しております。

※立山黒部サービス(株)は本体事業を補完し、食品加工、手荷物回送等の事業を行っております。

# 営業概況

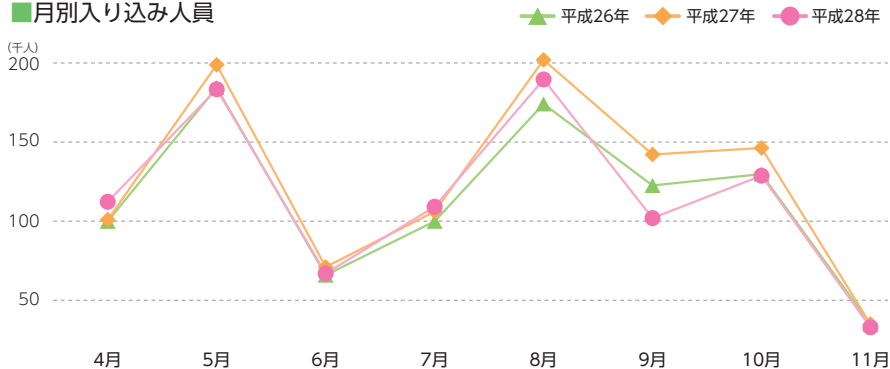
平成28年度の入り込み人員は、92万2千人（対前年92%、75千人減）で、内訳では、富山入り込みが47万6千人（対前年92%）、大町入り込みが44万6千人（対前年93%）となりました。主な営業成績は、下記のとおりです。

## ■入り込み人員



	平成26年度	平成27年度	平成28年度
富山入り込み	472	517	476
大町入り込み	437	480	446
入り込み人員合計	909	997	922
内、当社線入り込み人員	693	749	704

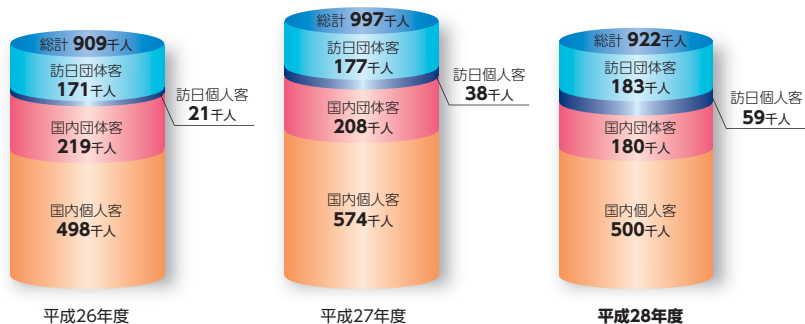
## ■月別入り込み人員



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	総計
平成26年	100	182	67	100	172	122	129	37	909
平成27年	101	196	72	106	199	141	145	37	997
平成28年	112	181	68	109	187	102	128	35	922

訪日客は、北陸新幹線を活用する旅行ルートの周知や、JRと連携した企画切符「立山黒部オプショナル券」等の販売により個人客が増加し、過去最高の24万2千人となりました。

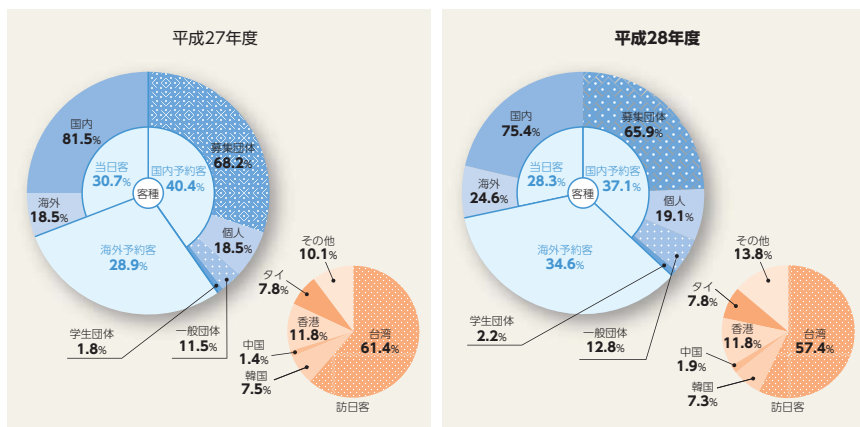
## ■客種別入り込み人員



(単位：千人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
入り込み人員合計	909	997	922
訪日団体客	171	177	183
訪日個人客	21	38	59
国内団体客	219	208	180
国内個人客	498	574	500

## ■地域別客種別シェア ※堂室～黒部湖間利用人員より算出



# トピックス

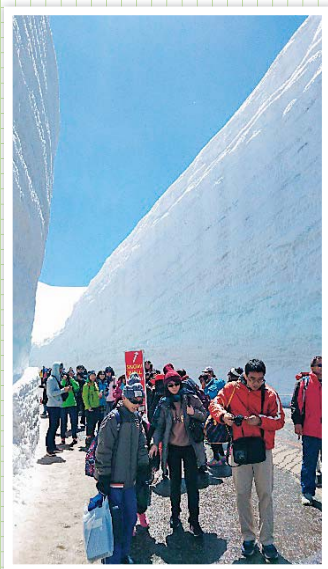
## 「個人向け誘客活動」を強化

個人旅行の増加傾向を受け、今年6月から平日限定の前売りきっぷ「平日限定！TKきっぷ」をインターネット利用限定（通常の1割引）で発売いたしました。

事前購入による安心感と利用日を自由に選択できる利便性を提供することにより、平日の集客アップを図ります。

また、旅行関連サイトへの情報提供、広告掲出を行い、若い世代に立山黒部アルペンルートの魅力をアピールしてまいります。

さらに、増加を続ける訪日客に対応するため、台湾に初めて海外駐在員を置きました。アジアを中心に一層の営業活動を推進してまいります。



雪の大谷19m

## 「黒部ケーブルカー原動装置」を更新

黒部ケーブルカーは、昭和44年7月の運行開始以来初めて原動装置を更新いたしました。原動装置および制御装置は2系統あり、緊急時にも迅速に対応可能な装置を備えております。保守管理体制の強化により、安全で快適な運行に努めてまいります。



立山ロープウェイの搬器を取り外して資材を搬入



新しくなった原動装置

その他、多言語に対応したデジタルサイネージ（電子看板）を立山駅に設置し、見どころの紹介や誘導案内、緊急情報等、世界各国からのお客様に対して適宜お知らせする事が可能になりました。



# 会社概要

(平成29年3月末現在)

- 所在地 〒930-8558 富山県富山市桜町1丁目1番36号
- 電話 (076) 441-3331
- 設立日 昭和39年12月25日
- 事業目的 自動車運送事業、鉄道・軌道及び索道事業、ホテル・旅館事業、  
売店・食堂その他飲食物販売業、旅行業法に基づく旅行業
- 資本金 41億6千万円
- 発行済株式総数 8,973,258株（自己株式318,410株を除く）
- 株主数 1,437名
- 役員（平成29年6月29日現在）

代表取締役社長	佐伯 博
専務取締役	永崎 泰雄（営業推進部長）
常務取締役	新森 雅夫（総務部長）
常務取締役	中川 修（経営企画室長）
常務取締役	見角 要（運輸事業部長）
社外取締役	石井 隆一
社外取締役	永原 功
社外取締役	庵 栄伸
社外取締役	月山 將
社外取締役	辻川 徹
社外取締役	森 雅志
社外取締役	牛越 徹
社外取締役	丹波 重和
取締役	石野 一美（立山貫光ターミナル(株)常務取締役ホテル営業部長）
取締役	高江 均（技術環境部長）
取締役	中村 直幸（経理部長）
常勤監査役	川嶋 芳明
社外監査役	舟橋 貴之
社外監査役	中田 邦彦

# 株主関連

● 事業年度 4月1日～翌年3月31日

● 定時株主総会 6月

● 基準日

株主優待券 2月末日

定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当金 3月31日

● 公告掲載新聞 北日本新聞

● 単元株式数 100株

● 株主名簿管理人

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社

● 同取次場所

日本証券代行株式会社 支店

三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

● お問合せ・送付先

〒168-8620

東京都杉並区和泉2-8-4

日本証券代行株式会社 代理人部

0120-707-843 (フリーダイヤル)

## 単元未満株式買取・買増制度のご案内

当社では、単元未満株式（100株未満）をご所有の株主の皆様のご便宜を図るため、単元未満株式の買取および買増制度を行っております。

### <単元未満株式の買取り>

株主様がお持ちになっている単元未満株式を、当社が買い取らせていただきます。

### <単元未満株式の買増し>

株主様がお持ちになっている単元未満株式と合わせて1単元（100株）となる株式を当社が株主様に売却いたします。

お手続きの詳細につきましては、上記**日本証券代行(株) 代理人部**までお問い合わせください。

## 株主優待制度

ご所有株式数	優待乗車券・乗車証			ホテル 宿泊 割引券
	種 類	通用区間	発行枚数	
100株～150株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～室 堂	2枚	2枚
150株～300株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～室 堂	3枚	2枚
300株～400株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～室 堂 立 山～黒部湖	1枚 2枚	2枚
400株～600株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～黒部湖	4枚	2枚
600株～800株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～黒部湖	6枚	2枚
800株～1,000株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～黒部湖	8枚	2枚
1,000株～2,000株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～黒部湖	10枚	4枚
2,000株～3,000株未満	優待乗車券(片 道)	立 山～黒部湖	20枚	4枚
3,000株以上	優待乗車券(片 道) 優待乗車証(記名式)	立 山～黒部湖	30枚 1枚	6枚

- 優待有効期間：各年度 営業期間中
- 各券のご利用方法につきましては、各券面記載事項をご覧ください。

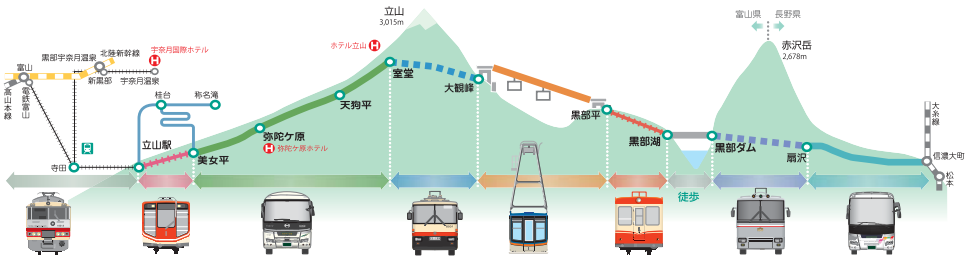
### ～旧「立山開発鉄道株式会社」株券をお持ちの株主様～

当社では、合併により消滅した立山開発鉄道株式会社の株券と、当社株券との引換えを行っております。まだ引換えのお済みでない株主様は、新株券との引換えをお願い申し上げます。

なお、引換えのお手続きにつきましては、左記日本証券代行(株) 代理人部までお問い合わせください。



## 立山黒部アルペンルートのご案内



乗物	電車 電鉄富山～立山	立山 ケーブルカー	立山高原 バス	立山トンネル トロリーバス	立山 ロープウェイ	黒部 ケーブルカー	(徒歩)	関電トンネル トロリーバス	路線バス
キロ (時間)	31.3km (65分)	1.3km (7分)	23km (50分)	3.7km (10分)	1.7km (7分)	0.8km (5分)	0.8km	6.1km (16分)	18km (40分)
運賃	片道	1,200円	720円	1,710円	2,160円	1,300円	860円	1,540円	1,360円
	往復	2,400円	1,290円	3,020円	3,240円	1,940円	1,300円	2,570円	2,500円

### 営業推進部

〒930-0849 富山県富山市稲荷町2-3-4  
 国内営業センター・海外営業センター・WEB・PRセンター  
 ☎(076) 432-2819 FAX (076) 442-3431

### 東日本営業所

〒102-0081 東京都千代田区四番町4-9 東越伯鷹ビル1階  
 ☎(03) 3262-7028 FAX (03) 3265-5285

### 東海営業所

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル10階  
 ☎(052) 241-2268 FAX (052) 241-2275

### 西日本営業所

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-9-15 近畿富山会館4階  
 ☎(06) 6445-0359 FAX (06) 6445-0398

### 大町営業所

〒398-0002 長野県大町市大町3-2-2-2  
 ☎(0261) 22-0198 FAX (0261) 23-2967

### グループのホテル



#### ホテル立山

〒930-1414 富山県中新川郡立山町芦峰寺室堂  
 ☎(076) 463-3345 FAX (076) 463-3348



#### 弥陀ヶ原ホテル

〒930-1412 富山県中新川郡立山町芦峰寺弥陀ヶ原  
 ☎(076) 442-2222 FAX (076) 442-2242



#### 宇奈月国際ホテル

〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉7-26  
 ☎(0765) 62-1236 FAX (0765) 62-1808

● 立山黒部アルペンルートオフィシャルサイト  
<http://www.alpen-route.com>

(編集・発行) 立山黒部貫光株式会社  
 〒930-8558 富山県富山市桜町1-1-36  
 ☎(076) 441-3331 (代表) FAX (076) 433-1185

(自然環境保護のため、環境にやさしい「水なし印刷」  
 「植物性大豆油インキ」を使用しております。)

